

Y16a すばるキッズで見る日本のキッズ

布施 哲治 (国立天文台)、秋山優、小越佳美、高岸暁子、宮城康平 (ハワイ大学)、志村知洋、三浦くみの (ハワイ大学 OB/OG)

すばる望遠鏡ホームページには、これまでの観測成果をはじめ、ニュース記事「すばるトピックス」、遠隔授業などの各種申し込み、研究者向けの様々な情報等が掲載されている。2002年3月からは、子供向けコンテンツとして「すばるキッズ」を開始した。学校で初めて星を習う小学4年生以上を対象学年とした「すばるキッズ」には、「ガリレオが見た宇宙」や「すばるでの天体観察」などをテーマとするイラスト入りの連載ストーリーや天体画像ギャラリー、子供たちからの質問を受け付ける質問コーナーなどを設けている。投稿フォームから寄せられた質問には、各学年までに学習した漢字のみを使った回答を作成、直接メールで返信すると共に、よくある質問はFAQとしてリストアップしてきた。一方、質問の送信によって、子供たちの学年、都道府県、質問内容、投稿日時、使用したブラウザの種類などの情報がデータとして得られる。今回これらを元に、宇宙や天文に興味を持つ子供たちの姿を調査することにした。まず質問者の年齢は、幼稚園 (この場合は親が代理投稿) から高校生や学校の先生まで広がるが、分布をみるとターゲットとしている小学4年生が圧倒的に多い。当初の質問時期は学校でオリオン座を習う冬場に集中していたが、FAQの掲載によってその現象はおさまったように見える。また、東京都からの質問が圧倒的に多いものの、各都道府県の人口で規格化すると結果は異なった。発表では、最新のデータを含めた解析結果を報告する。